

2023年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科/サウンドクリエイターコース											
ベーシックレッスン1-a											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	下條慧			実務経験	有	職種	アレンジャー				
担当教員紹介											
日本工学院専門学校サウンドクリエイターコースを卒業後、アーティストへの楽曲提供や映像音楽の制作など歌モノからインストまで多ジャンルに渡り制作を行ってきた経歴がある。											
授業概要											
基本的なDAWソフト操作からサウンドメイキングまで修得し、またエフェクト効果などを習得することにより其々の作品のクオリティを上げていく事を目的とする。トータルバランスを視野に入れたサウンドメイキングを各学生が制作し2年次での卒業制作・デビューに向けての準備を行う。											
到達目標											
音楽制作に必要な基本的な操作・知識・技術を学ぶ。1年次は主に4リズムセクションへのサウンド効果の技術・知識の習得を目標とする。実際の生楽器にも触れることにより、DTMにおける作業にリアリティを持たせる。生楽器の音を知ることにより、DAW上で施すエフェクト処理に大きな違いが生れることを意識づける											
授業方法											
DAWの操作方法、基本概念、基本的な（ベーシックな）エフェクトの使い方をCubaseを使用して学んでいく。授業前半は講義・解説、後半はそれを実際にPCを使い実践していくスタイルで行う。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
スキルに個人差があるので、個別対応も行う。不明な点はその場で質問すること。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	音楽制作の実情と何が必要かを把握する										
第2回	基本操作法、PCソフト立ち上げ・保存方法										
第3回	音色の設定、トラック制作										
第4回	ソフトウェアの各機能の理解・操作法										
第5回	入力方法、パターン										

2023年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科/サウンドクリエイターコース	
ベーシックレッスン1-a	
第6回	コンプレッサー、エフェクト効果
第7回	入力方法、パターン
第8回	コンプレッサー、エフェクト効果
第9回	入力方法、パターン
第10回	コンプレッサー、エフェクト効果
第11回	入力方法、パターン
第12回	コンプレッサー、エフェクト効果
第13回	音の基礎知識、サンプリング周波数、ビットレート
第14回	音の基礎知識、サンプリング周波数、ビットレート
第15回	作品提出

2023年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科/サウンドクリエイターコース											
ベーシックレッスン1-b											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	田熊 知存			実務経験	有	職種	アレンジャー				
担当教員紹介											
<p>幼少の頃からエレクトーン・Jazzピアノを習い、コンクールで優秀な成績を収める。様々なアーティストのサポート演奏や楽曲提供を手がけており、幼い頃に影響を受けたDisney音楽のような歌心がありファンタジックな曲の制作を得意とする。</p>											
授業概要											
<p>譜面と言うツールを用いて他人と意思を疎通させる能力を身につける。具体的には</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 譜面を用いて様々な理論を学ぶための準備を行う。</li> <li>2) 15回までの学習過程で、結局は基礎的な楽典を学ぶことになる。大局的な視点で音楽を捉えられるようになる。</li> <li>3) 4 rhythm section に関するオーケストレーション・スコアリングを学ぶことにより、生・打ち込みに関わらず、アレンジ全般の基礎部分を身につける。</li> </ol>											
到達目標											
<p>各楽器の役割と特性についての理解 4rhythm sectionでのアレンジの方法とそれに伴うDAW上での操作を習得する</p>											
授業方法											
<p>配布資料（紙、プロジェクトファイル）をもとに解説講義を行う</p>											
成績評価方法											
<p>試験・課題 70% 課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価          成果発表 20% 授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価          平常点 10% 積極的な姿勢</p>											
履修上の注意											
<p>前期・後期とも単に「譜面が読める・書ける」ことを目標としているわけではなく、「読み手に余計な推理力を働かせることのない」譜面を作成することを常に念頭に置く。そのためには楽器に関する知識も必要であり、音楽理論も必要になってくる。譜面を書くことで「この先自分は何を学ぶべきか」が、学生一人ひとりに意識付けられるような指導を心がける。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。</p>											
教科書教材											
<p>毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする</p>											
回数	授業計画										
第1回	大雑把に譜面の表すものを把握する										
第2回	基本的な音符・休符の表記と意味を習得										
第3回	各種変化記号・enharmonic・circle of 5th・調号と転調の記譜について理解する										
第4回	pulse pattern・小節線・pick up・clef change・拍子・meter change の記譜について理解する										
第5回	meter change に伴う tempo change・スペーシング・tempo marking について理解する										

2023年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科/サウンドクリエイターコース	
ベーシックレッスン1-b	
第6回	rhythm の分類と記譜・flag/beam の記譜法・各種 time における pulse 間の強弱関係を理解する
第7回	第6回の続き
第8回	imaginary barline・primary および secondary beam・syncopation 表記・tuplet について理解する
第9回	第8回の続き
第10回	休符・tie・付点の記譜を理解する
第11回	voicing 全般・divisi・accidental 配置ルール・octave sign・col 表記について理解する
第12回	fermata・pause・長休符・各種リピート記号について理解する
第13回	各種 dynamics 表記について理解する
第14回	各種 articulation 表記について理解する
第15回	中間課題の最終チェック

2023年度 日本工学院専門学校																			
ミュージックアーティスト科/サウンドクリエイターコース																			
ベーシックレッスン1-c																			
対象	1年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	120	単位	4								
担当教員	田熊知存			実務経験	有	職種	アレンジャー												
担当教員紹介																			
<p>幼少の頃からエレクトーン・Jazzピアノを習い、コンクールで優秀な成績を取る。様々なアーティストのサポート演奏や楽曲提供を手がけており、幼い頃に影響を受けたDisney音楽のような歌心がありファンタジックな曲の制作を得意とする。</p>																			
授業概要																			
<p>音楽基礎クラス、音楽周辺クラスでの修得事項を統合し、作・編曲、トラック制作に必要なあらゆる事項を総合的に理解し分析することを目的とする。 1年次は4リズムセクションに関して徹底的に分析することにより修了制作における基礎を築くことになる。</p>																			
到達目標																			
<p>各セクションの分析をすることによりトータルな（4リズムセクションの）サウンドを構築できるようにすることを目標とする。あらゆるジャンルにおける分析を行うことにより、独自のトラックを制作できるようになることを目標とする。</p>																			
授業方法																			
<p>ベーシックレッスン1_bと連動した授業。 ベーシックレッスン1_bで学んだ知識を実践に落とし込んでいくことを目的とする。 DAW上での操作を含め、アレンジを総合的に習得していく。</p>																			
成績評価方法																			
<table border="0"> <tr> <td>試験・課題</td> <td>70%</td> <td>課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価</td> </tr> <tr> <td>成果発表</td> <td>20%</td> <td>授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価</td> </tr> <tr> <td>平常点</td> <td>10%</td> <td>積極的な姿勢</td> </tr> </table>											試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価	成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価	平常点	10%	積極的な姿勢
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価																	
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価																	
平常点	10%	積極的な姿勢																	
履修上の注意																			
配布プリント																			
教科書教材																			
<p>毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする</p>																			
回数	授業計画																		
第1回	授業の目的を理解してもらうことで共通の目的意識を持ち、授業に取り組む姿勢について確認する																		
第2回	コード進行とはどんなものなのかを解説する																		
第3回	ダイアトニックコードについての解説とディグリーについて																		
第4回	ダイアトニック内のコードを使った楽曲の解説（Iスタート）																		
第5回	ダイアトニック内のコードを使った楽曲の解説（IVスタート）																		

2023年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科/サウンドクリエイターコース	
ベーシックレッスン1-c	
第6回	ダイアトニック内のコードを使った楽曲の解説 (VI m スタート)
第7回	ダイアトニック内のコードを使った楽曲の解説 (II m スタート)
第8回	ダイアトニック内のコードを使った楽曲の解説 (III m スタート)
第9回	ここまでの復習
第10回	各コードの機能について
第11回	各コードのサブコードについて
第12回	各コードのサブコードについて2
第13回	ドミナントモーションについて 1
第14回	ドミナントモーションについて 1
第15回	前期の復習

2023年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科/サウンドクリエイターコース											
ベーシックレッスン1-d											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	古峰拓真/川島基宏 杉山航平/須藤直也			実務 経験	有	職種	作編曲家				
担当教員紹介											
アーティストやゲーム音楽、映像作品への楽曲提供に加え、楽器演奏やDJとしてステージに上がるなど各々が様々なジャンルにおいて活躍している。											
授業概要											
<p>楽曲の基本とも言える4リズムセクションの打ち込みを体得することで、打ち込みの基本について学ぶ。他の授業との連携により個々で作成したリードシートを元に打ち込みを行い、自分がどのような曲を譜面に書いていたのかを認識するとともに、実際に打ち込むことで分かるミスや違和感を基に譜面のアップグレードを行う。また基本的なDAWの操作に関しても楽曲制作を通じて学ぶ。基本は一人で作業することが多いので、そういった状況での問題を打破できる解決能力を養う。</p>											
到達目標											
<p>毎回の講義、録音実習を通して、録音に使用するマイクの種類や特性を学び、録音スタジオでのルーティングを理解をする。また、各自でセッティングをし、DAWソフトウェア（Cubase・ProTools）を使用し、楽器に対して適切な録音を行えるようにする。DAWでの録音作業と並行してオーディオファイルについても理解を深め、最終的には録音したオーディオファイルの編集、それらを用いたラフミックスの作成までを行えるようになることを目標とする。</p>											
授業方法											
<p>録音実習では、DAW教室でのナレーション、ボーカル、ギター、ベース等楽器のレコーディングを経験する。DAWを使用した演習では、学生が録音したオーディオファイルを含め、DAW上で行うオーディオ編集、エフェクト処理等、オーディオファイルに関連する様々な事項を学びます。</p>											
成績評価方法											
<p>試験・課題 70% 課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価          成果発表 20% 授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価          平常点 10% 積極的な姿勢</p>											
履修上の注意											
<p>授業の際は筆記用具、ノート（五線紙もあることが望ましい）、データを記録する外付けHDD（SSD）、ヘッドフォン（必要に応じてミニステレオ→標準フォンプラグの変換）を毎回用意すること。毎回の授業内容はノートに採り、自身で繰り返し確認できるようにする。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。</p>											
教科書教材											
<p>毎回授業にて資料配布を行う          参考書・参考資料等は授業中に指示をする</p>											
回数	授業計画										
第1回	授業の目的を理解してもらうことで共通の目的意識を持ち、授業に取り組む姿勢について確認する。										
第2回	基本操作を学び、打ち込みをする為の準備をする。										
第3回	適当なシンセを用いて指定された歌メロを打ち込む。										
第4回	適当なシンセを用いて指定された歌メロとコードを打ち込む。										
第5回	4リズムセクションの基本について学ぶ										

2023年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科/サウンドクリエイターコース	
ベーシックレッスン1-d	
第6回	ドラムのビートや各打楽器の役割について学ぶ
第7回	指定されたビートの打ち込みとフィルの作成
第8回	ベースの基本知識と役割について学ぶ
第9回	前回打ち込んだビートにベースをつける
第10回	ピアノの基礎知識と役割について学ぶ
第11回	前回までのデータにピアノでコードやメロをつける
第12回	ギター、シンセについての基礎知識と役割について学ぶ
第13回	前回までのデータにギターorシンセでコードやメロをつける
第14回	8～16小節程度で4リズムセクションの曲を作成する1
第15回	8～16小節程度で4リズムセクションの曲を作成する2